

千葉大学病院にて肺癌の手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年3月19日

呼吸器外科

呼吸器外科では、気道インターベンションに関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2006年1月1日～2023年12月31日の間に当院において気道インターベンションによる治療（気管支鏡の治療）を受けた方

1. 研究課題名

「気道インターベンションの治療成績と合併症の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院で気道インターベンションを行われた方を対象とし、その治療成績と合併症を評価することを目的としています。原疾患、併存疾患、治療前状態、選択した気道インターベンション、処置後合併症、画像結果、採血結果、治療成功の有無、再発後の治療についてデータを取得し、気道インターベンションが与える影響を調べます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2006年1月1日から2023年12月31日の間に、当院において気道インターベンションを受けた患者さんに関して、気管支鏡台帳をもとにして電子カルテからデータを抽出し解析をします。具体的な臨床情報としては、年齢、性別、Eastern Cooperative Oncology Group

Performance Status; ECOG PS、生活歴（飲酒・喫煙など）、既往歴、併用薬、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、気道インターベンション中または後に生じた合併症、治療記録（再発の有無、繰り返す治療の必要性の有無）、治療後の症状の改善の有無、これらの情報を解析し、今後の気道インターベンションに関する適応・治療意義について検討します。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器外科 准教授 鈴木 秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科臨床研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 佐田 諭己

043 (222) 7171 内線 5464